



② 防災に生かす情報ネットワーク

① 情報ネットワークを活用した防災

●地震や水害などさまざまな自然災害が発生する日本では、**人々の安全を守るために、情報ネットワークを活用した防災**に取り組んでいる。

② さまざまな形での情報伝達

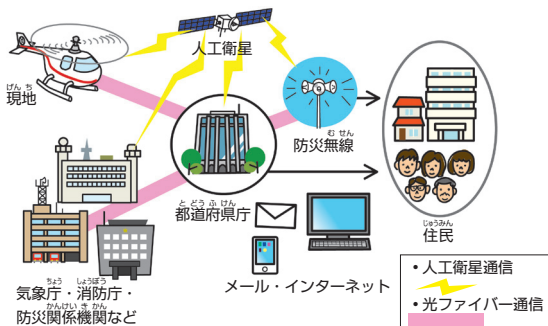
●自然災害が起きたときに被害が発生しやすい地域や、避難経路・避難場所などが示されたハザードマップという地図を公開している自治体が増えている。



▲ ハザードマップ (東村山市提供)

●登録者に災害時緊急情報や**気象警報**、**地震情報**、**津波警報**・**注意報**、**土砂災害警報**、**洪水警報**などを知らせる**防災情報メール**を配信している自治体が増えている。

●地方公共団体では、大きな災害が起きたとき通信がとぎれないよう、情報を**光ファイバー**と**人工衛星**の二つのネットワークで伝えている。



▲ 都道府県の総合防災情報システム



① 情報ネットワークを活用した防災

行政では、災害に関する情報を外部のウェブサイトに提供するなど、市民が情報にアクセスしやすくなるようなシステムづくりに取り組んでいるところもある。

3・4年

5年

6年

情報編

第1章
情報産業とわたしたちのくらし

用語

② 光ファイバー

電気信号を光に変えて情報を伝達するケーブル。ガラスやプラスチックの細い繊維でできている。超長距離での大容量データ通信が可能。

用語

③ 人工衛星

ロケットなどで打ち上げられ、地球の周りを公転する人工の天体。気象観測や通信中継などのさまざまな目的に使用される。